

2023 年 3 月 22 日作成

Ver.1.2

鼻性視神経症の術後視力に関連する因子の解明に資する研究**1、研究の目的と意義**

鼻性視神経症の患者さんで、術後の視力が落ちる因子を画像診断の結果を含めて明らかにし、適切な治療方針の決定に貢献することを目指します。

2、対象となる患者さん

2012 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの期間に、長崎大学耳鼻咽喉科で鼻性視神経症の診断で内視鏡下鼻内術を行い、術後半年以上経過観察できた方。

3、研究の方法

対象となる患者さんに対し、電子カルテから下記「4、研究に用いる情報」に記載してある情報を集め、術後の視力が良かった方と悪かった方に分類し、項目の違いを評価します。そのことにより、術後の視力とこれらの項目との関連性を明らかにし、より適切な治療方針の決定ができるようにします。情報は全て通常の診療で得られたものばかりですので、新たな検査の必要性や費用の負担はありません。

4、研究に用いる情報

性別、年齢、既往歴、発症から手術までの日数、眼の痛みの有無、視力検査および画像検査結果、術後合併症の有無。

本研究は電子カルテより上記の情報の提供を受けて実施する研究です。

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2025 年 12 月 31 日

6、外部への情報の提供

該当無し

7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院 耳鼻咽喉科 木原 千春

8.お問い合わせ先

長崎大学病院 耳鼻咽喉科 木原 千春

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7349 FAX 095（819）7352

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）